

各位

株式会社北洋銀行
農林中央金庫札幌支店
株式会社日本政策金融公庫札幌支店

農業・食産業の持続的発展に向けた北洋銀行、農林中金、日本公庫 の3行による協調支援について ～北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社様への協調出資・融資～

1. 北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社様について

北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社様は、後志管内で醸造用ぶどうを安定生産し、北海道ワイングループ様として、新たなGI北海道ワインブランドを立ち上げるべく、2020年4月に設立されました。

初年度は仁木町の農地を取得し、2021年春に植栽、2024年秋の収穫を目指します。

2022年度には、隣接する余市町で現在、醸造用ぶどうが生産されている土地を承継し、同年秋より収穫を開始する予定です。

2. 3行による資金支援の内容について

北海道ワイングループ様の本件取り組みは、後志管内での醸造用ぶどうの生産基盤維持・発展と、地元産ぶどうを原料とする日本ワインの生産増につながり、地域産業の発展に資する取り組みであること、また、ぶどう生産とワイン生産が地域において一体的に取り組まれることにより、地域の活性化が期待されることから、次により関係者が連携して支援していきます。

・ほくよう農業地域活性化ファンドを通じた出資	1,000万円
・アグリビジネス投資育成株式会社（以下、アグリ社）を通じた出資	1,000万円
・農林中央金庫（以下、農林中金）からの融資予定額	3,000万円
・株式会社日本政策金融公庫（以下、日本公庫）からの融資額	3,000万円

ほくよう農業地域活性化ファンド（ほくよう農業地域活性化ファンド投資事業有限責任組合）は、北洋銀行、日本公庫等が共同で組成したファンドで、本件は「ほくよう農業地域活性化ファンド」の第2号案件です。

また、アグリ社は、農林中金等と日本公庫が共同で組成した、件数ベースでは国内最大規模の農業ファンドです。

3. 今後の展開について

北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社様は、醸造用ぶどうの安定生産を目指すとともに、後志管内で後継者不足等により離農が進む農地の受け皿や就農希望者への技術承継といった機能を発揮します。北海道ワイン株式会社様では同社の醸造用ぶどうを使用した新たなGI北海道ワインブランドを立ち上げ、輸出を含めた幅広い販売戦略を展開します。

北洋銀行、農林中金、日本公庫は、各種商談会のご提案やビジネスマッチング等により北海道ワイングループ様を支援していくほか、今後も、自治体等関係機関と連携した地域活性化に取り組んでまいります。

【支援先の概要】

支 援 先 名	北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社 (代表取締役 鳥村 公宏 / 所在地 北海道小樽市)
資本金 (設立時)	2,000 万円
事 業 内 容	果樹 (醸造用ぶどう) の生産、販売
総 事 業 費	1 億円

【出資概要】

出資機関等	ほくよう農業地域活性化ファンド	アグリビジネス投資育成株式会社
出資決定額	1,000 万円	1,000 万円
出資形態	無議決権株式引受	無議決権株式引受
資金使途	醸造用ぶどう生産に必要な運転資金	醸造用ぶどう生産に必要な運転資金
出資理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離農者の受け皿として地域農業の維持、生産基盤強化に寄与 ・ 農業の課題解決のモデルケースとしての地域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志管内醸造用ぶどうを活用する北海道ワイングループの取組支援 ・ 次世代を担う農業法人としての地域活性化

【融資概要】

金融機関等	農林中央金庫	株式会社日本政策金融公庫
融資決定額	3,000 万円	3,000 万円
融資資金名	プロパー資金	農業経営基盤強化(スーパーL)資金
資金使途	運転資金	農地、造成費用、機械取得資金
融資理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志管内醸造用ぶどうを活用する北海道ワイングループの取組支援 ・ 次世代を担う農業法人としての地域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の農業を担う認定農業者の経営改善に資する事業 ・ 離農者の受け皿として地域農業の維持、生産基盤に寄与

■スキーム図

